

令和 6 年度 第 2 回 尼崎市社会教育委員会議 議事録

1 社会教育委員会議概要

(1) 日時

令和 7 年 3 月 26 日（木） 午後 5 時 00 分～午後 6 時 40 分

(2) 出席委員数

8 名

(3) 協議・報告事項等

- ア 令和 7 年度社会教育関係事業について
- イ 令和 7 年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について
- ウ 尼崎市立図書館基本的運営方針の改定について
- エ 令和 6 年度第 1 回尼崎市社会教育委員会議議事録について
- オ その他

2 協議・報告事項の議事録等

(1) 令和 7 年度社会教育関係事業について

ア 事務局からの説明内容

- (ア) 社会教育課所管事業の説明
- (イ) スポーツ推進課所管事業の説明
- (ウ) 地域クラブ推進担当所管事業の説明
- (エ) 歴史博物館所管事業の説明

イ 主な質疑応答内容

- (委 員) コミュニティ・スクールの導入状況はどのようになっているか。
- (事務局) コミュニティ・スクールについては、令和 7 年度に 7 校での導入を予定しており、それを持って尼崎市立学校全校でのコミュニティ・スクールの導入が完了となる。
- (委 員) コミュニティ・スクールの取組が少しずつ進んでいることが分かった。
今年度で退任することになったが、8 年ほど地域学校協働活動推進員として活動していた。地域学校協働活動推進員としての活動は、社会教育課に報告書を提出するのだが、記載内容に対して色々と質問され、煩雑さを感じることも多くあった。もう少しコーディネーターの方が作成しやすいシンプルな報告書になればよいと思っている。
- (事務局) コーディネーターの方の意見を聞きながら、改善できるところは、今後改善していこうと思う。
- (委 員) 人権啓発活動事業と人権啓発リーダー育成事業について、どのような活動を行ったかが分かる資料をいただくことは可能か。
- (事務局) 研修会の内容や参加対象者、参加人数など事業内容が分かる資料を提供すればよいか。
- (委 員) そのような資料で問題ない。
- (事務局) 少し時間を頂戴することになるが、後日資料の提供を行う。
- (委 員) 各事業の詳しい内容をホームページ等で閲覧することはできないのか。

- (事務局) ホームページでは、各事業内容の振り返りを行う「事務事業シート」を閲覧することは可能だが、詳細な事業内容までは分からない。各事業の詳細を知りたい場合については、社会教育課まで連絡いただければ対応する。
- (委員) 市民スポーツ振興事業費について、各種表彰を行う事業内容となっているのか。
- (事務局) 主要事業については、(仮称)「生涯スポーツ賞」表彰の実施となっているが、その他にも、全国大会等に出場する選手への激励金の支給や、スポーツ指導者に対する研修会の実施等も事業内容に含まれている。
- (委員) (仮称)「生涯スポーツ賞」表彰の予算額が 28 千円となっているが、経費の内訳はどのようなものになっているのか。
- (事務局) 表彰を行う際に必要となる、表彰額や記念品の購入経費となっている。
- (委員) 評価指標に記載されている目標人数の 10 人に対して、表彰を実施できればよいと思う。
- (事務局) これまでは指導者や選手中心の表彰制度となっていたが、生涯スポーツに励んでいる方に対しても表彰することが出来る制度の確立を目指している。
- (委員) 生涯スポーツに取り組んでいる人は数多くいるため、選考が難しいように思う。
- (事務局) 継続年数や年齢的なものを表彰要件として、候補者を選んでいくようなことを想定している。表彰されている方を見て、その他の人も生涯スポーツに励みたいと思うような制度になればよいと考えている。
- (委員) 市民が楽しめるユニークなエピソード等も絡めながら表彰するなど、これまでと違うような表彰制度になればよいと思う。
- (委員) 地域クラブ活動推進事業費は、中学校の部活動に関する事業となるのか。
- (事務局) 中学校の部活動に関する経費については、学校教育部の予算となることから、本日の資料には掲載していない。ここに掲載している経費については、現行の中学校の部活動を地域クラブに移行した際に、スポーツ振興事業団が地域クラブの事務局業務を担うために必要となる運営経費等を計上している。
- (委員) ○○中学校のバスケットボール部が地域クラブに移行することから、○○中学校の生徒は今後、○○学校区にある地域クラブに行ってくださいというような通知は、地域クラブに移行する半年前に来る、という話を聞いたことがある。半年前の通知ではなく、1 年前ぐらいに通知することはできないのか。
- (事務局) 川西市の場合については、ある時期になれば一斉に中学校の部活動から地域クラブに切り替えを行うというような形をとっている。一方、尼崎市においては、川西市のように一斉に中学校の部活動から地域クラブへの切り替えを行うのではなく、スポーツ振興事業団が直営で運営する「直営地域クラブ」と、地域団体等を地域クラブとして認定する「認定地域クラブ」の設立を進めている。一定の受け皿が整った種目ごとに、中学校の部活動から地域クラブ活動へ移行していくことになるが、3 年生が引退する夏であるとか、年度のはじめにするなど、タイミングが良い時期に移行することを想定している。地域クラブへの移行に関する案内につきましては、半年前ぐらいになるのではないかと思います。
- (委員) 半年後に地域クラブに移行することを受け止めることができない生徒もいると思う。また、年度途中に移行するのは止めてほしい、という声を聞いたことがあるため、何故、年度

途中に移行する必要があるのかと、これまで疑問に思っていた。

(事務局) 中学校の部活動から地域クラブに移行することについては、これまで7回ほど保護者説明会を実施している。中学校にもご協力いただき、保護者の方には生徒を通じて説明会に関する案内のチラシを配布させていただいていたが、中には説明会に関する案内のチラシを見たことがないというような保護者もいた。

地域クラブへの移行の状況について情報発信をしていく必要があると考えている。市ホームページ等に、地域クラブに関して、現在の進捗状況や設立されている地域クラブの情報等を随時掲載させていただくことにより、急に中学校の部活動がなくなったという風に捉えられることがないように取組を進めているところである。

(委員) あまがさきアーカイブズ推進事業費について、将来的には公文書全てをデジタル化していくような計画があるのか。

(事務局) デジタル化を進めていけるよう努めているが、150,000点ほどの資料が存在していることから、その全てをデジタル化するためには、かなりの手間と労力と経費がかかる。そのため、市民の方々が資料を閲覧しやすいようにするために、市のホームページで資料の目録を掲載させていただいており、その中から閲覧したい資料があった際は、歴史博物館に連絡をいただき、現物の資料を見ていただくというような対応を行っている。また、指定文化財等については、近隣にお住まいの方は実施に見に来ることが可能であるが、遠方にお住まいの方については、興味があっても見に来ることが中々難しくなっているため、デジタルアーカイブズを作成し、市のホームページから資料を閲覧できるようにしている。

(委員) 紀要「地域史研究」を発行すると記載されているが、現在も発行しているのか。

(事務局) 年に1回、紙ベースで紀要を発行し、販売している。

(委員) 小学校には図書ボランティアの方がおられて4,5年前にその方たちを対象とした読み聞かせ研修をさせていただいたが、学校によってボランティアの方の活動状況がかなり異なっていた。ある学校では定期的に読み聞かせを行ったり、図書の補修をしたりしていたが、別の学校では図書室自体開いておらず、あまり活動できていない様子であった。学校の先生の方の考え方や体制が影響しているのだろうか。子どもたちには図書に触れる機会を平等に与えてほしいと思う。

(事務局) 少しでも平等に図書に触れ合う機会を創出することができるよう、小学校の児童を対象としたデジタル図書のID付与を行っているところである。

(委員) どの小学校においても図書ボランティアの方がいてほしいと思っているが、地域によっては共働きの家庭が多い等により、図書ボランティアの方が集まらないこともある。しかしながら、学校教育課により読書力向上の職員を配置されているため、図書室自体が閉まっていることはないと思う。

(委員) 4,5年前から状況が変わっておられるようでよかったと思う。歴史博物館の「尼崎歴史探検 (AMATAN) 事業」のように、小学校の内に一度は校外学習等で、中央図書館か北図書館に行く機会があればいいと思う。また、併せて旧聖トマス図書館の有効利用も考えていただければと思う。

(2) 令和7年度社会教育関係団体に対する補助金の交付について

ア 事務局からの説明内容

補助金交付対象団体と交付額の説明

イ 質疑応答内容

特になし

(3) 尼崎市立図書館基本的運営方針の改定について

ア 事務局からの説明内容

尼崎市立図書館基本的運営方針の改定内容の説明

イ 質疑応答内容

- (委員) 中央図書館と北図書館の他に、各地区生涯学習プラザで図書を配架し、子どもたちが本をすぐに手に取れる距離にあるということは大変良いことだと思う。スペース等の制約があるかと思うが、図書の数がもっと増えればよいと思っている。
- (委員) ○○小学校の図書ボランティアの方から意見があったが、学年が上がるにつれて図書室に来る割合が低くなるので、図書のデジタル化が必要ではないかとの意見があった。図書室の整備と図書のデジタル化の同時並行での取り組みが必須ではないかと思う。
- (事務局) 子どもたちが図書に触れ合う機会が増えるような取組を進めていく。
- (委員) ○○中学校の生徒がビブリオバトルで本のプレゼンをしていたが、とても上手にプレゼンをしていたので、引き込まれた。友達が勧めた本を読みたいと思うので、中学生のビブリオバトルは良い取組だと感じた。
- (委員) 阪神間各市の利用状況を見ると、尼崎市と西宮市の人口規模が近いものの、全体的な数値が西宮市に比べて低くなっている。
- (事務局) 尼崎市は西宮市に比べて図書館の数が半分となっている。
- (委員) 図書は経費がかかることから、予算の確保も難しくなっていると思う。
- (事務局) 北図書館の建て替えを控えているが、かなり期待している。これまでの図書館は静かに学習する場所というイメージが定着していると思うが、新たな北図書館では、賑わいの拠点として色々な世代が集まる図書館づくりを目指している。蔵書冊数についても、西宮市と比較して20万冊ほど差があり、これは拠点1館分に値する。蔵書冊数の増加はもちろんのこと、学校図書室との連携もこれからの課題になる。いずれにしても、新たな北図書館の整備を契機として、色々な取組を進め、図書サービスの充実を図っていきたいと考えている。
- (委員) ビブリオバトルも良い取組であるが、最近、アクティブ・ブック・ダイアログという取組が少しずつ流行っている。例えば1冊の本に10章あったとすれば、本の内容を10分割して、10人が1章ずつプレゼンする、10人がプレゼンすると1冊読んだことになるというものだ。本に馴染みがない人でも取り組むことができる。尼崎市でも是非とも取り入れていただければと思う。

(4) 令和 6 年度第 1 回尼崎市社会教育委員会議事録について

ア 事務局からの説明内容

令和 6 年度第 1 回尼崎市社会教育委員会議事録の説明

イ 質疑応答内容

特になし

以 上